

教科名	作業学習（木工科）	学年	1 学年
-----	-----------	----	------

目 標	・木材等を主材料とする製品の製作や製品の意識調査、企画、受注、納品、販売、管理などの活動において、学年ごとの目標の一つとして基礎的、定着、発展的といった段階的・系統的な教育実践を行うことで、生徒の社会で働くための実践的な態度を育てる。
学年の目標	・製品製作を通して、木工作業に必要な知識や技術の基礎を身に付ける。 ・職業生活に必要な姿勢やマナーを育てる。

月	時数	単元名 題材名	単元目標 (観点別の目標)	学習内容	評価の観点 (生徒の達成度を A～D の 4 段階で総合評価)
4		オリエンテーション 実習室掃除 木工作業の基礎知識	【知識及び技能】 ・木工作業の基本的な流れや掃除の手順、道具や機械の特性などを理解し、安全に作業することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己の課題を整理し、その解決策を考え、作業学習における目標を設定し、改善に向けて助言を受けながら考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ルールを守り、安全に作業する意識や職業生活に必要な態度やマナー、礼儀を身に付けることができる。	□オリエンテーション(2) ・1 学年の学習内容について □実習室掃除(2) ・実習室の掃除の手順 【日常生活の指導：清掃】 □木工作業の基礎知識(21) ・使用する道具、機械について ・木材の種類、性質について 【理科：生物、自然】	【知識・技能】 ・学習内容を確認しながら、安全に作業することができる。
					【思考・判断・表現】 ・作業日誌などを活用して自己の課題を整理し、助言を受けながら解決法を考え、次の作業に生かすことができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 ・ルールを守り取り組むことができた。また、適切な態度で挨拶、返事、報告などができる。
					評価方法 ・実習の様子、作業日誌の記入状況、出席率
5 6		インテリア雑貨、ティッシュボックスケースの製作	【知識及び技能】 ・手工具や糸のこ盤、スピンドルサンダーなどの電気工具の特性や扱い方を理解し、安全に使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・糸のこ盤やスピンドルサンダーなどの操作に関して、課題を整理し、助言を受けながら考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・安全に作業する姿勢や、より良い製品を作るため、主体的に取り組むことができる。	□鉛筆立て、インテリア雑貨、ティッシュボックスケース等の小物製作 ・作業学習で必要となる手工具や電動工具の操作方法について 【数学：測定、単位、図形】 【国語：読む】	【知識・技能】 ・手順や注意点をよく確認して、安全に工具を使用することができる。
					【思考・判断・表現】 ・作業日誌などを活用して課題を整理し、助言を受けながら解決法を考え、次の作業に生かすことができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 ・安全に注意して作業をすることができた。また、丁寧な仕事を意識して取り組むことができる。
					評価方法 ・実習の様子、作業日誌の記入状況、出席率
7 8 9		大型機械を使用した製品	【知識及び技能】 ・手押しカンナ盤や自動送りカンナ盤、横切り盤などの大型機械の特性や扱い方を理解し、課題を理解して安全に使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・手押しカンナ盤や自動送りカンナ盤、横切り盤などの大型機械の操作に関して課題を整理し、助言を受けながら考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・安全に作業する姿勢や、より良い製品を作るため、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。	□大型機械を使用した製品 ・基本的製作工程について ・大型機械の操作方法について 【数学：測定、単位、図形】 【国語：読む】	【知識・技能】 ・手順や注意点をよく確認して、大型機械を使用することができる。
					【思考・判断・表現】 ・作業日誌などを活用して課題を整理し、助言を受けながら解決法を考え、次の作業に生かすことができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 ・安全に注意して作業をすることができた。また、丁寧な仕事を意識して取り組むことができる。
					評価方法 ・実習の様子、作業日誌の記入状況、出席率
10 11 12 1 2 3		さくらプロジェクト記念品の製作	【知識及び技能】 ・既習の知識と技能を生かし、スツール製作の工程を理解して必要な技能を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・さくらプロジェクトの意義を知り、スツール製作に関しての課題解決に向けて助言を受けながら考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の役割を理解し、協力しながらより良い製品を作るため取り組む態度を身に付けることができる。	□さくらプロジェクト記念品の製作(1 回目) ・さくらプロジェクト製品製作に関する基礎、基本について 【数学：測定、単位、図形】 【国語：読む】	【知識・技能】 ・手順や注意点をよく確認して、製作することができる。
					【思考・判断・表現】 ・助言を受けながら解決法を考え、次の作業に生かすことができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 ・安全に注意して作業をすることができた。また、丁寧な仕事を意識して取り組むことができる。
					評価方法 ・実習の様子、作業日誌の記入状況、出席率